

## 部局からの報告： 薬学部・薬学研究科

報告者  
薬学研究科准教授 西川元也

2007年11月26日（月）総務部会議室（事務棟5階）

## 授業評価（授業アンケート）

1. 目的（各研究科の教育に関わる背景などを含む）
2. 実施体制（実施主体・データ処理担当・業者委託範囲・等）
3. 実施方法（調査項目・対象科目・実施時期・調査手続き・等）
4. 実施結果（主な出力・フィードバック方法・公表範囲・等）
5. 結果の活用状況
6. 授業評価に関わる課題
7. アンケート結果

## 目的（各研究科の教育に関わる背景などを含む）

- 実習、演習、実務実習など講義以外の教育内容が多い。
- カリキュラムが複雑なので全体像を把握しにくい。
- 学生の進路（企業研究者、薬剤師、他）に関するデータを収集する目的もある。

## 実施体制（実施主体・データ処理担当・業者委託範囲・等）

- 実施主体：薬学研究科自己点検・評価委員会（研究科長、評議員、専攻長、事務長）
- データ処理担当：半田哲郎教授（自己点検・評価委員長、副研究科長）及び研究室事務補佐員1名
- 業者委託範囲：なし

## 実施方法（調査項目・対象科目・実施時期・調査手続き・等）—1

- 調査項目：後述
- 対象科目：講義全体に対するアンケートのみ。今年度（平成19年度）後期から科目（講義）別アンケートを実施予定。
- 実施時期：1～3年生は5月頃。4年生、大学院生は10月頃。
- 調査手続き：アンケート用紙を配布し、記入後回収する。記名は自由（実質は無記名）。自由記述欄あり。

## 実施方法—2：調査項目

### 新入生

1. 大学入学に際し京都大学薬学部を選んだ理由。
2. 京都大学薬学部に入學したことに對する感想。
3. 将来の進路に対する希望（→集計データ）。
4. 薬剤師免許取得について。
5. 自由記述。

### 2～4年生

1. 入學後の学部教育や學生生活に對する感想。
2. 将来の進路に対する希望（→集計データ）。
3. 薬剤師免許取得について。
4. 大学学部の学部授業について（→集計データ）。
5. 自由記述。

### 大学院生

1. 京都大学薬学研究科の院生であることについて。
2. 博士前期課程の院生に課程修了後の進路。
3. 将来の進路に対する希望（→集計データ）。
4. 薬剤師免許について。
5. 研究科の授業（実験・演習・講義等）について（→集計データ）。
6. 自由記述。

## 実施結果（主な出力・フィードバック方法・公表範囲・等）

- 出力・フィードバック方法：現在検討中。
- 公表範囲：現在検討中。

## 結果の活用状況

- 3年分（平成17、18、19年分）のデータ蓄積あり。
- 結果の活用については現在検討中。

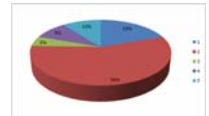
## 授業評価に関わる課題

- 実施体制の整備・事務との協力体制の構築。
- 科目（講義）別アンケートの実施（今年度実施予定）。
- 出力、フィードバック、活用方法の検討。
- データ管理・保管方法。

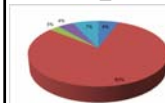
将来の進路に対する希望について（H18年度）。

1. 教育者・研究者として大学等に勤めたい。
2. 研究者として企業に勤めたい。
3. 薬剤師として病院や薬局に勤めたい。
4. 研究者や薬剤師以外の職業を選びたい。
5. 将来についてまだあまり考えていない

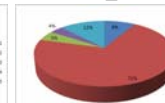
院生



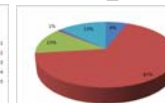
4回生



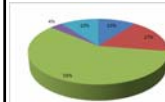
3回生



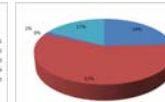
2回生



1回生（薬学科）

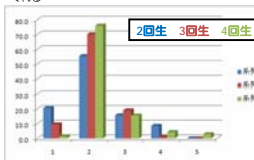


1回生（薬科学科）

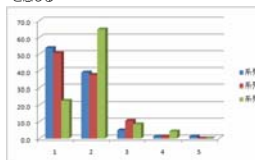


### 知的充足感

1. 大学の授業は自分の興味や関心、知的欲求に添えてくれる

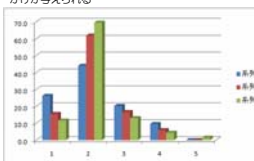


2. 大学の授業は高校や予備校までの学習と質的に違うと感じる

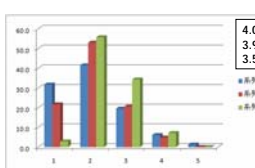


①とてもある ②とある程度ある ③どちらともいえない ④ほとんどない ⑤全くない

3. 大学の授業を通して学問や研究について考えるきっかけが与えられる



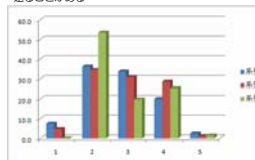
4. 大学の授業は学問水準の高さを感じる



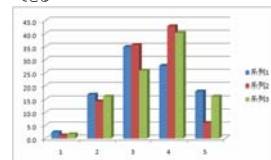
4.0  
3.9  
3.5

### 知的充足感

5. 大学の授業の中で自分のものの見方や考え方を振ることができる

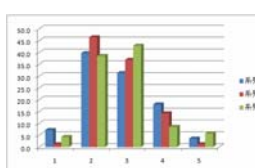


6. 大学の授業を通して勉強の仕方について学ぶことができる

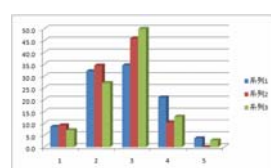


### 教員と学生の関係

7. 教員の教育への熱意が感じられる

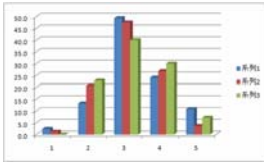


8. 教員は学生の自主性や参画を大事にしてくれる

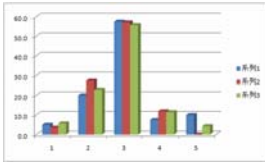


### 教員と学生の関係

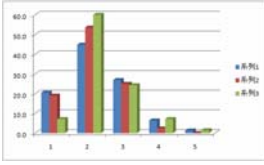
9. 教員とのコミュニケーションが感じられる



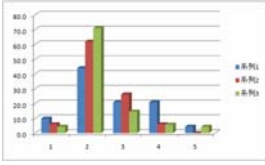
10. 教員は学生の人格を尊重してくれる



11. 教員の学問追求の熱意が感じられる

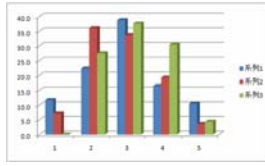


12. 教員の人格に惹かれることがある

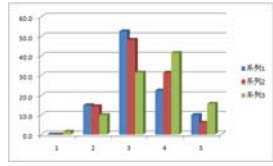


### 有効性

13. 大学の授業は自分の実生活に役立つと感じる

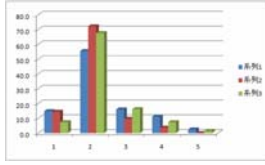


14. 大学の授業は薬剤師の免許が取れるように配慮されている

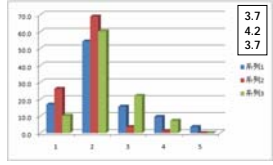


### カリキュラム

15. 大学の授業を受けながら将来の進路を考えることがある



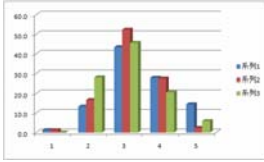
16. 授業科目同士の関連性を感じることもある



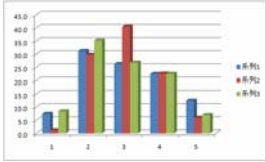
3.7  
4.2  
3.7

### カリキュラム

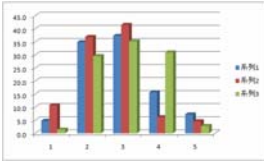
17. 授業内容で、教員同士の連携や協力を感じることがある



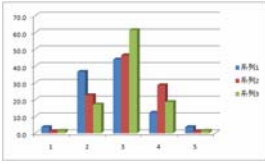
18. 全学共通科目は自分の興味・関心や知的欲求に応えてくれる



19. オリエンテーションやシラバスで学習の見通しが得られる

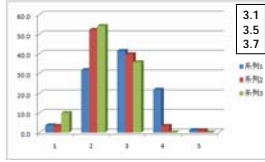


20. 薬学部カリキュラムで薬学の学問の全体像がわかる



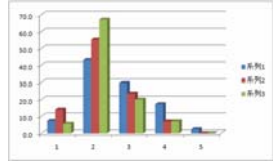
### 理解度

21. 大学の授業の内容は理解できる



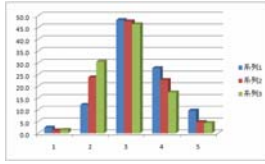
3.1  
3.5  
3.7

22. 大学の授業を受けているともっと勉強したいことが出てくる

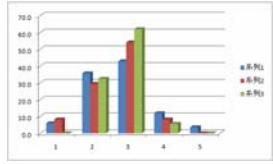


### 授業改善

23. 大学の教員の教え方はわかるように工夫されている

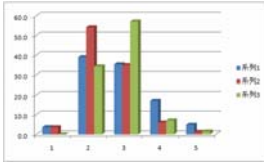


24. 授業が分からないのは学生の努力が足りないからである

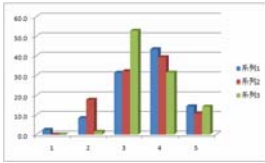


### 授業改善

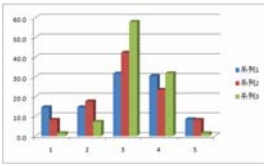
25. 大学の授業内容や、教材は面白い



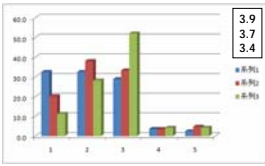
26. 大学の授業では仲間と話し合ったり、教員と討論する機会がある



27. 授業がわかるためにはもっと少人数にするべきだと思う



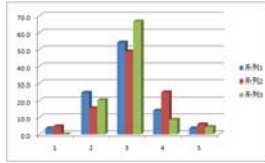
28. 学生による授業評価は授業改善に必要なと思う



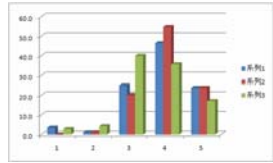
3.9  
3.7  
3.4

### 講義への期待度

29. 必要なのは学生が選ぶので教員は専門のことを講義して欲しい

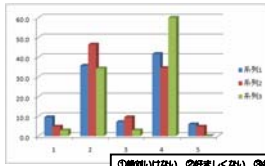


30. 大学以外でも学ぶ機会があるので大学の講義をそれほど重視しない

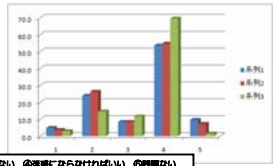


### 授業中の態度

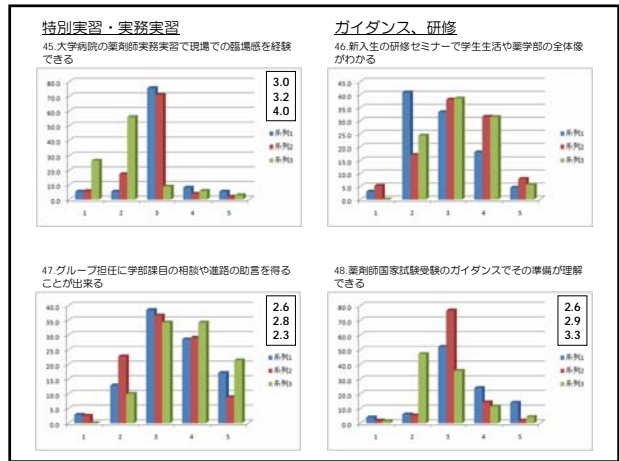
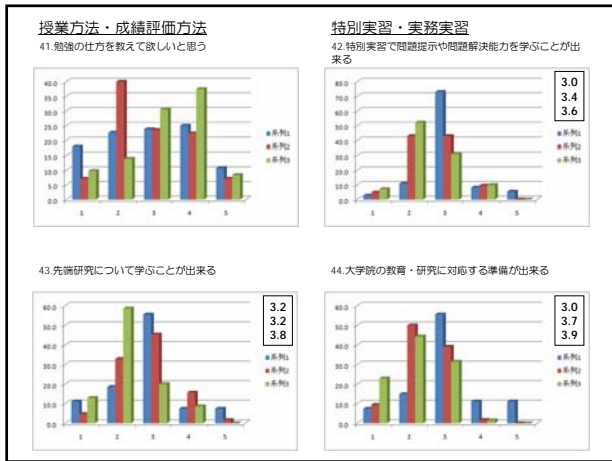
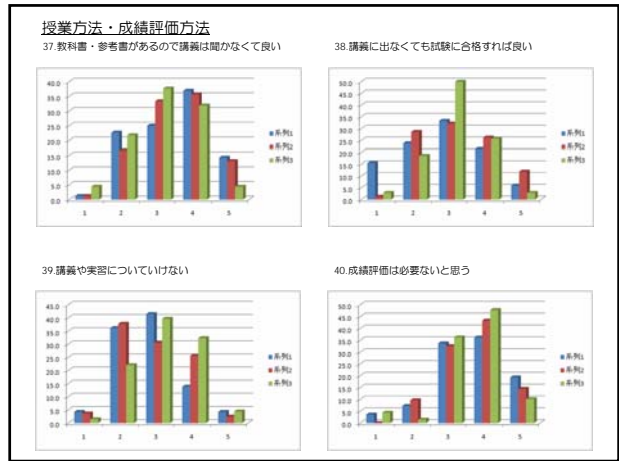
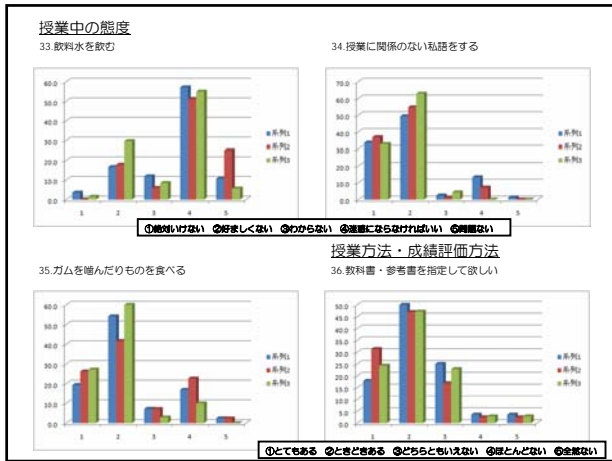
31. メールのやりとりをする



32. 授業に関係のない本を読む



①無い/②少ない/③普通/④多い/⑤非常に多い



### 院生に対するアンケート結果

教育・研究体制

- 1 学部教育から大学院教育の継続性、一貫性がある 2.8
- 2 学生情報サービスのネットワーク端末が充実している 3.8
- 3 各研究領域・専門分野に特化した実験と演習が整備されている 3.8
- 4 各研究領域・専門分野間の交流・共同研究が多い 3.2
- 5 学外（国内外）での研究発表、共同研究の機会が多い 3.8
- 6 共同利用（大型）研究設備が充実し利用しやすい 3.4
- 7 若手研究者や大学院生が研究に専念できる体制である 3.7
- 8 大学院生と教員がセミナーなどで自由に討議する環境である 4.0

大学院講義等

- 9 講義は自分の研究領域に関する知的欲求に応えてくれる 3.2
- 10 講義を通して専門領域を超えた研究に接する機会が与えられる 3.7
- 11 講義の水準に学術的高さを感じる 3.5
- 12 講義の中で新しい見方や方法を学ぶことができる 3.6
- 13 講義科目には一貫性や関連性がある 2.8
- 14 高度で先端的な学術研究に接する機会が与えられる 3.7

有効性 (16は臨床薬学コースの大学院生への質問)

- 15 医薬品の創製を担うための問題提起・解決能力を学べる 3.2
- 16 先進医療における高度な技能・実務能力を学べる 3.3
- 17 自立的に研究の企画やプランニングする方法が学べる 3.6
- 18 国内外で研究成果に基づいた持論をアピールする能力が養える 3.6

### 自由記述

【1回生】  
私は薬科生なのでですが、薬剤師免許を取得したいという場合、大学院は何かのサポート等をしていただけるのでしょうか？要領等を見て「一歩も進めばいいよ」という表現ばかりでいいからとばかり分りませんので一度説明してほしい場合があったら、二度の説明をお願いできるでしょうか？  
入学時にコースに分けてしまつてはいいけど、2、3回生になる時でも進路をどうしようかというのを相談したいです。1、2年からの入生に比べては、熱心な学生です。

【2回生】  
講義がなくて授業が受けにくい、履修登録が判りづらい、  
教員による「授業が判りにくい」とがある、  
学びが浅いと感じています。

【3回生】  
1. 学外での研究発表、共同研究の機会が多い、  
2. 共同利用（大型）研究設備が充実し利用しやすい、  
3. 若手研究者や大学院生が研究に専念できる体制である、  
4. 大学院生と教員がセミナーなどで自由に討議する環境である、  
5. 学外（国内外）での研究発表、共同研究の機会が多い、  
6. 共同利用（大型）研究設備が充実し利用しやすい、  
7. 若手研究者や大学院生が研究に専念できる体制である、  
8. 大学院生と教員がセミナーなどで自由に討議する環境である、  
9. 講義は自分の研究領域に関する知的欲求に応えてくれる、  
10. 講義を通して専門領域を超えた研究に接する機会が与えられる、  
11. 講義の水準に学術的高さを感じる、  
12. 講義の中で新しい見方や方法を学ぶことができる、  
13. 講義科目には一貫性や関連性がある、  
14. 高度で先端的な学術研究に接する機会が与えられる、  
15. 医薬品の創製を担うための問題提起・解決能力を学べる、  
16. 先進医療における高度な技能・実務能力を学べる、  
17. 自立的に研究の企画やプランニングする方法が学べる、  
18. 国内外で研究成果に基づいた持論をアピールする能力が養える

【4回生】  
1. 学外での研究発表、共同研究の機会が多い、  
2. 共同利用（大型）研究設備が充実し利用しやすい、  
3. 若手研究者や大学院生が研究に専念できる体制である、  
4. 大学院生と教員がセミナーなどで自由に討議する環境である、  
5. 学外（国内外）での研究発表、共同研究の機会が多い、  
6. 共同利用（大型）研究設備が充実し利用しやすい、  
7. 若手研究者や大学院生が研究に専念できる体制である、  
8. 大学院生と教員がセミナーなどで自由に討議する環境である、  
9. 講義は自分の研究領域に関する知的欲求に応えてくれる、  
10. 講義を通して専門領域を超えた研究に接する機会が与えられる、  
11. 講義の水準に学術的高さを感じる、  
12. 講義の中で新しい見方や方法を学ぶことができる、  
13. 講義科目には一貫性や関連性がある、  
14. 高度で先端的な学術研究に接する機会が与えられる、  
15. 医薬品の創製を担うための問題提起・解決能力を学べる、  
16. 先進医療における高度な技能・実務能力を学べる、  
17. 自立的に研究の企画やプランニングする方法が学べる、  
18. 国内外で研究成果に基づいた持論をアピールする能力が養える

【5回生】  
1. 学外での研究発表、共同研究の機会が多い、  
2. 共同利用（大型）研究設備が充実し利用しやすい、  
3. 若手研究者や大学院生が研究に専念できる体制である、  
4. 大学院生と教員がセミナーなどで自由に討議する環境である、  
5. 学外（国内外）での研究発表、共同研究の機会が多い、  
6. 共同利用（大型）研究設備が充実し利用しやすい、  
7. 若手研究者や大学院生が研究に専念できる体制である、  
8. 大学院生と教員がセミナーなどで自由に討議する環境である、  
9. 講義は自分の研究領域に関する知的欲求に応えてくれる、  
10. 講義を通して専門領域を超えた研究に接する機会が与えられる、  
11. 講義の水準に学術的高さを感じる、  
12. 講義の中で新しい見方や方法を学ぶことができる、  
13. 講義科目には一貫性や関連性がある、  
14. 高度で先端的な学術研究に接する機会が与えられる、  
15. 医薬品の創製を担うための問題提起・解決能力を学べる、  
16. 先進医療における高度な技能・実務能力を学べる、  
17. 自立的に研究の企画やプランニングする方法が学べる、  
18. 国内外で研究成果に基づいた持論をアピールする能力が養える